

## 令和6年度小児筋電義手専門職養成研修会の実施報告

支援機器イノベーション情報・支援室

令和6年12月13日、小児筋電義手専門職養成研修会が開催されました。この研修会は、先天性上肢形成不全の子どもたちにとっていかに筋電義手が有用であるかを全国に周知したい、そして子どもたちに筋電義手を使ってもらいたいという思いから、当センターに所属する義肢装具士、作業療法士等の各専門職が協力し平成30年度から開催している事業です。内容は、筋電義手の構造や電極位置の選定、具体的な訓練方法と段階付け、事例の紹介、訓練用に改良した玩具や道具の工夫などを実技形式で学ぶことができる対面形式の研修となっており、当センターで実際に行っている訓練内容も紹介しています。今年度は、作業療法士、義肢装具士、医師の12名にご参加いただきました。

### 【実習の様子】



模擬義手操作訓練



義手分解・組立訓練



筋電分離訓練



玩具を用いた訓練

終了後のアンケートでは、「明日からの臨床に活用できる話題が沢山あり、ワクワクしながら聴講しました」「他職種も参加されていて（交流ができて）よかった」という感想や、「義手の方針検討や申請は専門性のある施設で実施し、成長に伴うフォローアップや保護者指導を地域で対応するような地域連携がすすめば、対象児がもっと増えるのではないか」といった意見もいただきました。

すでに四肢形成不全児の訓練を実施している参加者からは「社会資源をなんとか活用するべく手探りで対応している、社会資源の地域差を含めてさらなる情報共有の機会がほしい」「装飾用義手の支給までは到達した」など、義手の支給制度をはじめ、筋電義手全般の普及は十分ではないと感じる内容もありました。

日本全国どの地域でも筋電義手の訓練と製作が可能となり、制度が周知され、筋電義手を必要とするお子さんが支給を受けられることを願っています。来年度以降もアップデートした内容で研修会を開催していく予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。最後になりましたが、今年度の研修会にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

### 【講義の様子】

